

動脈・静脈・リンパ疾患を含む脈管疾患における診療実態、治療成績、

安全性および予後に関する研究

作成日：2026年5月19日 版数：第1版

1. 研究の対象

2020年4月1日から2030年3月31日までに、磐田市立総合病院で動脈疾患、静脈疾患、リンパ疾患を含む脈管疾患に対して診療、検査、処置、手術または血管内治療を受けた患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

脈管疾患には、末梢動脈疾患、動脈瘤、動脈解離、静脈瘤、静脈血栓症、透析シャント関連疾患、リンパ浮腫など、さまざまな疾患が含まれます。これらの疾患では、患者さんの状態や病変の部位に応じて、外来診療、薬物治療、血管内治療、手術、保存的治療などが選択されます。

本研究では、当院で診療を受けた脈管疾患患者さんの通常診療で得られた情報を用いて、疾患別・治療法別の診療実態、治療成績、安全性および予後を明らかにすることを目的としています。また、内臓動脈瘤、内臓動脈解離、下肢動脈疾患、下肢静脈瘤、透析シャント関連疾患、リンパ浮腫など、個別のテーマについて10例以上の症例集積が得られた場合には、サブグループ解析として検討します。

本研究は、通常診療で得られた診療録、手術記録、処置記録、画像検査記録、生理検査記録、外来診療記録、入退院記録を用いる単独施設観察研究です。研究のために新たな治療、検査、来院をお願いすることはありません。研究対象期間は2020年4月1日から2030年3月31日まで、研究実施期間は病院長による承認後から2032年3月31日までです。実施予定例数は最大5,000例です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、通常診療で得られた以下の情報を使用します。研究目的で新たに試料を採取することはありません。

- ・患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、既往歴、併存疾患、内服薬、抗血栓薬の使用状況
- ・対象疾患：末梢動脈疾患、慢性下肢虚血、急性動脈閉塞、動脈瘤、内臓動脈瘤、内臓動脈解離、大動脈疾患、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、表在性静脈血栓症、透析シャント関連疾患、リンパ浮腫、その他の脈管疾患

- ・ 検査情報：血液検査、画像検査、超音波検査、CT 検査、MRI 検査、血管造影検査、生理検査、ABI、TBI、皮膚灌流圧、創部評価、リンパ浮腫評価
- ・ 治療情報：薬物治療、保存的治療、圧迫療法、血管内治療、外科手術、創処置、透析シャント治療、リンパ浮腫治療、使用デバイス、治療部位、治療方法、手術時間、麻酔方法、入院日数
- ・ 治療成績：治療成功の有無、症状改善、創傷治癒、開存、再狭窄、再閉塞、再発、再治療、追加治療、下肢救済、切断、退院先、生存状況
- ・ 安全性情報：術中合併症、術後合併症、出血、血栓症、感染、創部合併症、造影剤関連合併症、再入院、再手術、死亡
- ・ 観察情報：外来経過、入院経過、術後フォローアップ、最終観察日、転帰

試料：使用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3

磐田市立総合病院 血管外科

電話：0538-38-5000（代表）

担当者：血管外科 露木 肇

研究責任者：磐田市立総合病院 血管外科 診療科長 露木 肇